

日本の伝統文化は地球を救う！

創作淨瑠璃 き語りライブ

10/22日

野澤松也

弾

芸術の秋
です！



歌舞伎義太夫三味線奏者
重要無形文化財総合指定保持者
野澤 松也
Matsuya Nozawa



Program [演目]

・古典

「鬼一法眼三略卷 五条橋の段」
きいちらうげんさんりやくのまき ごじょうばしのだん
京の五条橋のうえで、牛若丸
(源義経)と武藏坊弁慶との
出会いを描いた場面です。

・創作淨瑠璃

「權狐情栗譚」
ごんぎつねなさけのくりのものがたり
半田市出身の新美南吉作の
有名な物語です

・長唄とのコラボレーション

「新版歌祭文 野崎村の段」
しんばんうたざいもん のざきむらのだん
お染久松の悲しい恋の物語。

- ・淨瑠璃のおはなし
- ・三味線のおはなし
- ・質問と、体験タイム

Guest・ゲスト

長唄三味線演奏家
杵屋 三澄那
Kineya Sansumina

ゲスト
コーナー



淨瑠璃に用いられる太棹三味線と、長唄に用いられる細棹三味線の違いを聞き比べします。また、皆さんおなじみの「花見踊」「連獅子」をお聞きください。

歌舞伎や文楽に欠かせない義太夫三味線演奏による、「語り物」音楽「淨瑠璃」の世界を、この機会に是非ご堪能ください。
野澤松也の魅力ある、わかり易いトークもお楽しみに！

in
名古屋



「広小路本町」の交差点の一本南、岡谷鋼機ビルの西隣

日時 2017年10月22日(日) 13:15~16:00(13:00開場)

会場 長円寺会館一階会議室 名古屋市中区栄 24-23 ☎052-231-0955

[地下鉄]東山線・名城線「栄」下車、西へ徒歩8分。または、東山線「伏見」下車、東へ徒歩5分
[市バス]「広小路本町」下車、南へ徒歩1分

会費 2,500円 ※大学生、専修・専門校生、高校生、中学生 1,000円、小学生以下無料。

定員 70名(定員になり次第締め切らせていただきます)

*お振込の確認をもってご参加とさせていただきますので、お早めにお振込みください。
締め切日は、10月13日(金)です。

主催 歌舞伎の学校 ☎0568-77-3008

問い合わせ・☎090-2186-2949(たちき)まで
お申し込み ✉info@kabukinogakkou.jp

会費のお振込み先

■下記、口座まで参加費を10月13日(金)までにお振込みください。
ゆうちょ銀行 00830-6-153512 歌舞伎の学校 立木常雄

■他金融機関からのお振込みの場合
ゆうちょ銀行 089 当座 0153512 歌舞伎の学校 立木常雄

Profile

野澤 松也 Matsuya Nozawa

歌舞伎義太夫三味線奏者
重要無形文化財総合指定保持者
1974年 国立劇場第1期文楽研修終了。野澤松之輔の内弟子となる。同年4月、国立劇場文楽公演で初舞台。1979年より歌舞伎の三味線方として現在に至る。「児雷也豪傑譚話」「NINAGAWA十二夜」他を作曲。2004年「創作浄瑠璃の会」設立。2016年「三味似粹人JAPAN」設立。松竹歌舞伎で舞台を務める傍ら、ライフルワークとして、昔話や民話、土地に伝わる話等を浄瑠璃風にアレンジした作品に作曲し、弾き語りで伝えている。本年10月、名古屋顔見世夜の部で上演されます「春重四海波」は、昨年11月、永楽館歌舞伎において新たに野澤松也が作曲した作品です。

杵屋 三澄那 Kineya Sansumina

愛知県犬山市出身。犬山高校卒業後、小学生の時に、魅せられた和楽器の魅力を追及するため、東京芸術大学音楽部邦楽科に進学、卒業。同大学大学院修士課程終了。在学中に「常英賞」受賞。宮内府桃華楽堂にて、御前演奏の栄に浴す。三重大学教育学部非常勤講師。

竹本の魅力

歌舞伎で演奏される「義太夫節(ぎだゆうぶし)」をさします。もともとは竹本義太夫(たけもとぎだゆう)が創出した、人形浄瑠璃(にんぎょうじょうるい)[文楽(ぶんらく)]の語りです。やがて人形浄瑠璃の作品を歌舞伎に移した「義太夫狂言(ぎだゆうきょうげん)」が上演されるようになったため、歌舞伎でも演奏されるようになりました。

「義太夫狂言」では、登場人物のせりふは基本的に俳優が語るため、「竹本」はおもに情景を描写する部分を語ります。あくまで俳優の演技を引き立てる演奏が基本になるため、熟練した技術を求められます。「竹本」のリズムに合わせて、俳優がせりふを言ったり、演技をすることを「糸に乗る」といいます。この「糸」は、三味線の弦(いと)をさします。特に立役(たちやく)が過去の出来事を周囲に語り聞かせる「物語(ものがたり)」や、女房(おんながた)が心情を吐露する「クドキ」とよばれる場面で、俳優が糸に乗り、「竹本」と一体となった場合には、舞台が盛り上がります。

また「義太夫狂言」以外にも、舞踊の演奏音楽として演奏される場合があります。

歌舞伎と浄瑠璃の魅力

300年の歴史を持つ歌舞伎と創作浄瑠璃について

ユネスコの無形文化遺産のひとつに選ばれた歌舞伎は、時代物、世話物、松羽目物と大きく3つに分けられます。その3つの中に、義太夫狂言が有ります。義太夫狂言とは文楽から歌舞伎に移行された狂言です。義太夫狂言には舞台上手に床があり、その上で語りの太夫と三味線奏者が役者の動きに合わせナレーションし、舞台を盛り上げます。日本では13名の歌舞伎義太夫三味線奏者が歌舞伎を支えています。昔、海外ではジャポニズムブームで、数多くの有名画家にも影響を与えた浮世絵、その中でも歌舞伎役者を描いた「役者絵」は大変人気でした。

野澤松也は、歌舞伎の舞台で三味線を彈く傍ら、ライフルワークとして2004年から「創作浄瑠璃の会」を設立し、昔話や民話、土地に伝

わる話、小説などをわかり易い言葉に変え、作曲をし、創作浄瑠璃に作り変えて弾き語りをしています。

もっと沢山の方に、歌舞伎や文楽、浄瑠璃を親しんでいただきたい、との思いで全国各地で公演をし、学校や幼稚園、老人介護施設などでも演奏をしたり、実際に三味線に触れて頂いたりしています。歌舞伎や文楽に欠かせない、義太夫三味線の演奏による“語り物”音楽「浄瑠璃 JORURI」の世界を、是非ご堪能ください。野澤松也の魅力あるお話を好評です。

<創作浄瑠璃>

『広島咲希望花カンナ』、『友情泣赤鬼物語』、『送り拍子木』、『道風教訓辛抱蛙』、『降積雪六傘地蔵』、『役者演闇魔大王』、『送り提灯』、『天晴桃乃鬼退治』、『灯り無し薺麦屋』、『暴猿子蟹仇討譚』、『人間椅子』など

知れば知るほど
奥深くておもしろいよ!



三味線の本手、上調子、
鳴り物(お囃子)、時にお
筝までがわります。

一曲は短いもので10分ぐらいのものから長いものでは1時間を超えるものもあります。その中でも前引き(イントロ)、転調、リズムの変化、クドキ(バラード部)、合い方の聞かせどころが盛り込まれています。

また踊り用、歌舞伎音楽以外に観賞用の長唄(純粹に長唄だけを聞かせる)楽曲もあります(吾妻八景、秋の色種・「いろくさ」と読みます等)。

是非、長唄を聞いてそのよさを見つけてください。歌舞伎鑑賞と合わせて聞いていただければその楽しさが良く判ると思います。

長唄の魅力

正式には江戸長唄といい、歌舞伎音楽としてスタートし歌舞伎の発展とともに盛んになりました。唄を中心とした「歌い物」「うたもの」と呼ばれますですが踊りの伴奏用(踊り地)として、また合い方(あいかた)という器楽だけの演奏で演奏者の腕の見せ所などもあり、歌舞伎では場面転換や、クライマックスで使われます。

演奏は基本的に複数人の唄と三味線で成り立っていますが、曲目によっては小鼓、太鼓、太鼓、笛などで構成される「お囃子」がつくこともあります。この演奏メンバーの事を地方(じかた)といいます。

通常の三味線パートのほかに「上調子」と呼ばれる三味線パートを持つ曲も存在し、唄、

日本の伝統文化は地球を救う！ “ Japanese traditional culture save the earth !! ”

名古屋顔見世 10月1日初日～25日千穂楽

日本特殊陶業市民会館 ビレッジホール

昼の部 11時 開演

- 恋女房染分手綱 重の井
- 番町皿屋敷
- 蜘蛛絲梓弦

夜の部 16時 開演

- 春重四海波
- 恋飛脚大和往来 新口村
- 連獅子

日本の誇れる文化を
語れるのも教養でござる



主催:歌舞伎の学校 <http://kabukinogakkou.jp>

協力:三味似粹人Japan(シャミニストジャパン) 工藤典子 (Facebook→)

「歌舞伎の学校」とは、人形歌舞伎・講演活動といった実演や、伝承者の育成を通じて、「莘しみながら歌舞伎にこれていただく機会づくり」に賛同する有志によって運営される歌舞伎文化の伝承活動団体です。親しみを感じていただくことを願い、あえて「学校」というタイトルを用いています。歌舞伎を楽しむ教室、海外の人に日本文化を伝える教室、留学生のための歌舞伎教室(体験あり)、海外研修生のための歌舞伎教室(体験あり)など、ご要望にあわせてご用意いたします教育現場などの講座、体験教室や企業の福利厚生イベントへの参加の企画、運営をお手伝いいたします。

日本文化体験教室などの企画・運営を
「歌舞伎の学校」がお手伝いいたします。

KABUKI
NO
GAKKOU
LECTURES THE JAPANESE TRADITIONAL ART